

アグリサーチャー ニュース

Vol. 18
2020/11発行



アグリサーチャー

農業研究見える化システム

<https://mieruka.dc.affrc.go.jp>

最新の研究成果と研究者を簡単検索。
生産者と研究成果とを未来へ繋ぎます。

アグリサーチャー

検索



今月の研究成果トピックス (アグリサーチャーHPより)

研究成果を
ご紹介

渋皮がぽろっとむけるニホングリ 「ぽろたん」「ぽろすけ」



©農研機構

ニホングリは大きさ、味ともに優れていますが、渋皮がむきににくく調理に手間と時間がかかるというのが特徴でした。

「ぽろたん」は軽く加熱するだけで、渋皮が簡単にむけ、果実が大きく、甘くて香りもあるおいしいクリです。「ぽろすけ」は渋皮がむきやすく、ぽろたん（収穫期9月上中旬）より1週間程度早く収穫することができます。この2品種を植栽することで、渋皮がむきやすいクリの収穫期間を拡大することができます。また渋皮がむきやすいクリだけを安定生産できます。



■研究成果は
こちら



ぽろたん



ぽろすけ

©農研機構

研究者の声 高田 教臣 さん (農研機構果樹茶業研究部門)

■研究者の紹介
はこちら



クリは好きだけど、皮むきが大変でこれまで敬遠してきたという方も多いですが、「ぽろたん」、「ぽろすけ」は簡単に渋皮がむけるので、そのまま焼き栗にするだけでなく色々な料理にも気軽に使うことができます。最近は店頭で見かけることも増えてきて、「簡単にむけて、おいしかったよ」という声が届くようになってきました。



©農研機構

「ぽろたん」の雑穀ピラフ

■「ぽろたん」を導入している生産者 (埼玉県日高市) の声

渋皮が本当にむけるのに驚いて、生産を始めました。当初は売れ残ることもありましたが、焼き栗などの商品化などにも取り組んだ結果、現在では販売開始時には行列ができるほどになりました。

むけるクリがもっと多くの人に食べてもらえるよう、新品種にも期待しています。



©農研機構

ぽろたん
グラッセ



©農研機構

タルト・ド・
ぽろたん

■関連情報

・農研機構ぽろたん紹介ページ



■LINE版アグリサーチャーは チャットボットで気軽に検索



リサちゃん

LINEアプリの「友だち追加」で「アグリサーチャー」を登録してくださいね。



または 「アグリサーチャー」
で検索

■Webアクセス情報 (2020年10月)

訪問者数: 7,966名 (累計: 342,645名)

